

米国大統領選と世界経済

双日総合研究所取締役副所長

吉よし崎さき達たつ彦ひこ

- *オバマ大統領の勝率は6割？
- *いろいろ見せ場がある大統領選
- *上院は民主党、下院は共和党が有利
- *公約の「一つのアメリカ」をつくったか
- *既成勢力の外側に新しい二つの運動
- *決められない政治アメリカ版
- *財政が、景気あるいは雇用か
- *左派に必要な画期的なアイデア
- *終わらない右派の自分探しの旅
- *日本も米欧と共通の課題を抱える



浅野 それでは開会いたします。（拍手）

まだ暑い夏が続いているつもりで私はノーネクタイで参りましたが、吉崎さんはちゃんとネクタイをしてこられていて申し訳ないなと思っっています。外してくださいと言ったのですけれども、外さずに講演されます。

去年も良い講演をしていただきました。大震災の後だったので電力の問題を中心に日本経済の話をしていただきましたが、とても大事なことをおっしゃっておられました。

双日ふじつという総合商社のことを一言、宣伝しておきます。これは日商岩井とニチメンとが合併して、二つの「日」ということで双日になったのですね。「そうじつ」と言うとき早実とよく間違われるのですが、吉崎さんが活躍して

おられるのにつれて、双日の知名度も上がって来るといふことかと思えます。

富山のご出身で、高校は富山中部高校です。ノーベル化学賞を取った田中耕一さんが1年上の学年にいたそうです。吉崎さんと田中さんの3年生のときの先生がたまたま同じで、その先生は田中さんのことはあまり覚えてなくて、吉崎さんと吉崎さんの同級生だった吉崎さんの奥さんのことはよく覚えていたとか。これから楽しみにですね。（笑）それではよろしくお願いたします。（拍手）

吉崎 すばらしいご紹介をどうもありがとうございます。吉崎でございます。今日はアメリカ大統領選挙を中心にお話をさせていただきます。